




May you find hope and peace this joyous season and may the coming year be  
your most successful year yet 

## 「プチ挫折」で身近な行動を変える

社会はコロナ禍の間に、10年かかる変化を2、3年で成し遂げたと言われています。私自身、今の社会人の仕事観やキャリア観の変化に戸惑うことも多いのです。

この変化でよく言われるのが、「終身雇用の崩壊」です。同時に、多くの企業が「働き方改革」「リモートワーク」「副業解禁」などを試行錯誤しながら進めています。これは、1つは不確実な時代に入り、企業が未来を予測できなくなったということです。もう1つは、少子高齢化が進み、労働力が不足していることです。このスピードがあまりにも速く、頭では理解できても感覚的についていけない自分がいます。終身雇用などのこれまで支えとなっていたものがなくなり、代わりに副業で働く場所などに関する自由が与えられたことは、学校教育にも大きく影響を及ぼしていくと思います。

つまり、これまで会社などの「団体軸」で生きてきた時代から、一人一人が「自分は社会に対してどのような価値を提供できるのか」という「個人軸」の時代が変わっていくということだと思えます。「自分はどのような価値を生み出せるのか」を個人が自分自身に問い、答えを探す時代ということです。

そうすると、高校生が、「まだ、将来自分がやりたいことが決まっていません」というのはよくある話ですが、大人も同じような問いをもたなければなりません。

これまでは、社会に対して価値を提供するのは会社であり、働く個人は自分でその点について掘り下げて考えなくても価値提供に貢献できていました。しかし、そういう「団体軸」でなく「個人軸」で行動することが求められるようになると「自分は社会に対してどのような価値を提供できるのか」という問いが直接的にくることになります。

「団体軸」で与えられる価値じゃなく、「個人軸」で自分の価値をつくるということが、みなさんの様々な進路で問われることになります。

「新しい価値を生み出す」というと、優秀な人が起こすイノベーションをイメージする人も多いと思います。しかし、当然ながら誰もがスティーブ・ジョブズになれるわけではありません。今求められている価値は、そんなにスケールの大きいものだけではないのです。この多様化の時代、多様になればなるほど新たな価値のサイズも小さくなっていきます。スケールダウンして、自分の好きなことで、どのような価値を提供できるかを考えていくことが大切になります。みなさんにはそういうマインドをもって、一步を踏み出せる人になってほしいと思っています。

では「個人軸」のキャリアを切り拓いていくために、これからのみなさんはどのような学びが求められるのでしょうか。もちろんこれまでのように「自分が社会にどう価値を提供できるかわからない」なら、大学等で様々な角度から現代社会の抱える問題について知ることも選択肢の一つになります。また「価値を生み出す具体的な方法を身に付けたい」なら、スキルを習得する進路を選択するのも一つの手になります。そう考えるとこれまでと大きく変わらない気がします。だが違うのは、「団体軸」より「個人軸」になっているということなのです。

「団体軸」の時代は、失敗しない人が生き残ったり、出世したりしたという話を聞きます。大人の中にはチャレンジしない人が安定を手に入れていました。しかしこれからの時代は、失敗を恐れず、失敗を糧に変化する人が成功すると言われます。だから私は、みなさんには、失敗できる機会をたくさん用意できたいと思っています。そういう「プチ挫折」で、身近な行動を変える経験が、みなさんのこれからの力になると思います。